

母性看護学方法論Ⅰ	2年・前期	2単位	准教授 西川 明美 助教 倉林 梢
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210782

### 1. 授業のねらい・概要

本科目は、妊娠期・分娩期における母性の身体的、心理的・社会的特徴を捉え、対象のニーズ・健康問題への援助について学習する。さらに、胎児の身体的特徴を踏まえて健康状態を把握し、胎外生活への適応促進のための看護を学ぶ。

### 2. 学修の到達目標

1. 妊娠のメカニズムを理解できる。
2. 妊娠による女性の身体的変化および精神心理・社会的変化を理解できる。
3. 胎児の発育・発達を理解できる。
4. 妊婦健康診査および妊娠中の保健指導の必要性と内容が理解できる。
5. 分娩のメカニズムを理解できる。
6. 分娩各期の看護が理解できる。
7. 異常妊娠・分娩の看護が理解できる。

### 3. 授業の進め方

講義（視聴覚動画含む）、演習（Google classroomで看護技術動画の視聴含む）、個人ワーク

### 4. 授業計画（講義・演習）

1. 妊娠のメカニズム・母体の生理的変化 妊娠期の心理 (西川明美)	9. 分娩各期の看護① (西川)
2. 胎児の発育と健康状態 (西川)	10. 分娩各期の看護② (西川)
3. 妊娠期における看護 (西川)	11. 分娩各期の看護③ (西川)
4. 妊娠期の異常と看護 (西川)	12. 演習内容の説明・演習事前課題 (倉林梢)
5. 妊婦と胎児のアセスメント① (西川)	13. 演習：妊娠・分娩期の看護技術 (倉林・西川)
6. 妊婦と胎児のアセスメント② (西川)	14. 演習：妊娠・分娩期の看護技術 (倉林・西川)
7. 分娩の要素① (西川)	15. 妊娠期・分娩期・演習のまとめ (西川・倉林)
8. 分娩の要素② (西川)	

### 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80％、授業態度・課題レポート20％で、総合的に評価する。

### 6. テキスト・参考文献

テキスト：ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版  
ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版  
参考文献：系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院

### 7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な内容

シラバスの授業計画の範囲について最低1時間の予習及び授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

Google classroomの配信動画を繰り返し視聴して、必要な看護技術の手技を確実に覚えて演習に臨むこと。

### 8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ，母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

### 9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容に不備があるものには再提出を求める。試験終了後口頭で試験問題の解答と解説を行う。

### 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得できない場合進級不可となる。

**11. 実務経験のある教員等による授業科目**

医療機関における助産師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。